

「建交労とうきょう」はい
つでもみなさまからの記事
や写真を待っています。

（メール）tohonbukukenkouro@sm
ile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

づ・とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

建交労東京都本部23春闘討論集会開催

12月5日（日）東京トラック

健保会館にて、建交労東京都本部23春闘討論集会を開催し37名が参加しました。石塚副委員長による開会あいさつと座長就任を経て、松田委員長より主催者挨拶がありました。続いて東京憲法会議田中章史事務局長を講師に招き「歴史の結節点に立つて、憲法や労働組合の原点から考える」と題した記念講演を行いました。講演の中で田中氏は、政府が10月31日に公表した『防衛力強化を議論する有識者会議第2回会合の議事録』について触れ「合議を構成する有識者からは、抑止力維持・増強のための反撃能力（敵基地攻

撃能力）は不可欠との見解が示され、5年以内に十分な数の長距離巡行ミサイルの購入を政府に検討するよう求めている。また、軍事費の倍化に向けた財源確保にあたっては、歳出改革の徹底と増税法人税には言及せずが必要であり、経済・財政・科学技術・公共インフラなど、あらゆる分野での軍事活用を求めている。歴代政権が違憲としてきた敵基地攻撃能力の保有をはじめ、憲法9条を基本にしてきた戦後日本のあり方を根本から転換する大変危険な内容である」と訴えました。また、衆議院憲法審査会では、維新の会と国民民主党が与党協議会に参加し、改憲あ

りきの論議が行われ、緊急事態条項（大規模自然災害、テロ・内乱、感染症まん延、国家有事安全保障）と議員の任期延長の審議をすすめ、多数での取りまとめを狙っていることなどが語られました。このような情勢の中、憲法署名を持つて国民と対話し、世論を変えて平和と暮らしを守る大運動を展開する必要が強調されました。続いて、都本部23春闘方針第一次案を提起しました。重点課題として2点に触れ、1点目は、21～22春闘に引き続きエッセンシャルワーカーの社会的役割に相応しい賃金と待遇を求める運動を継続していくこと。2点目は、2023年4

月より中小企業への猶予期間が終了し、60時間超の時間外労働の割増賃金が25%引き上げとなるが、止む無く60時間以上の労働が発生した場合に、法改正通りの賃金支払いを企業に求め、職場での不当な労務対策を許さず未組織労働者に向けて、猶予期間終了を広く宣伝し、不払い賃金の請求を呼びかけるたたかいを展開することを強調しました。全体討論で5つの組織より発言があった後、第7期建交労東京学校を修了した神田支部3名、南部支部中西部民間分会1名の仲間への表彰式が行われました。討論のまとめを行い、清水副委員長の閉会挨拶、松田委員長長の団結がんばろうで、終了しました。【書記長 遠藤 晃】



開会挨拶 松田執行委員長



学習会講師 東京憲法会議 田中章史事務局長



23春闘勝利を目指し団結して頑張ろう！



東部支部団結して頑張ろう！

結頑張ろうで、締めくくりました。算、役員案が採択され、最後に東部支部に部所属する組合員と地域の労働者の労働条件向上を目指し団結頑張ろうで、締めくくりました。

11. 27東部支部第23回定期大会開催

建交労東京東部支部は、11月27日（日）第23回定期大会を江東区砂町文化センターで開催し、畠田書記長が今年1年の活動報告と来期の運動方針提案を行いました。コロナ禍でレクレーション等が行なえなかったものの、トラックパレード沿道激励や、組織拡大検討委員会に積極的に結集した事などが報告されました。また、新たな1年は、宣伝行動や労働相談、受け皿組織としての一人職場交流会をさらに充実させるなど、組織建設に力を入れる方針が提案されました。決算・予算、役員案が採択され、最後に東部支部に部所属する組合員と地域の労働者の労働条件向上を目指し団結頑張ろうで、締めくくりました。

23春闘討論集会 質疑・討論



座長 石塚副委員長



議案提案 遠藤書記長

東京トラック部会

石塚 淳 部会長



毎月1回幹事を開催。首都圏労使セミナー、首都圏トラックパレード、関東東運輸局交渉、首都圏トラックの日宣伝行動、全国トラック部会宣伝行動など開催。東京トラック最賃対策会議を9単産で共闘。

京王新労組の闘いを引き続き支援。トラック政策を柱に全産業水準の賃金・労働条件の獲得、改善、要求アンケートの実施で組織化に取り組み。1月に第24回部会総会を開催予定です。

神田支部

松崎 守男 常任執行委員



グループ含め96職場に対し1月中旬〜2月

提出せず、春闘を行わない。私達はストを構え要求を提出。バス運転手の不足もあって、子会社でのベア、家族手当、退職金改定、15日の休日、一時金の2割カット分の支払い等勝ち取った。争議の早期解決を目指し現在会社と和解協議中。会社も解決したい意向だが連合と同じような組合になるわけにはいかない。西東京バスの賃金差別についても支援をお願いします。

三多摩トランスポート分会

斎藤 芳和 分会長



職場はミキサー車の運転手をはじめ従業員45名、3労組が存在。自分達建交

労は必ず労使で合意書を交わし経緯がわかる体制を継続。60歳定年後の労働条件維持など交渉中。一時金交渉妥結後、嘱託社員と正社員の均等に向けた事務折衝を会社が約束。ここ数年春闘アンケートは分会員だけでなく職場の2/3が回答。結果とお札を組合掲示板に掲載している。23春闘は少人数組合で困難ながらも粘り強く取り組む。

事業団・高齢者部会

藤田 誠 副部会長



高齢者事業団の賃金等の状況について。新宿区は公契約条例に基づく労務費

の下限額が1150円から1202円に上がる。事業団として600万の黒字を見込んでいたが、1100万円の支出増となるだろう。少しでも入札における落札額を上げる事が必要だが、ここ数年競争が激しく、芝公園、日比谷公園で仕事を失っている。苦しい中ではあるが、引き続き仕事確保、賃金アップを目指していく決意です。

12月11日〜12日第28回全国建設研究・交流集会

福島県スパリゾートハワイアンズ

国土交通労組、建交労、全建設連加盟組合など建設の労働組合や研究者等で構成する建設政策研究所は、約3年ぶりに福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズで第28回全国建設研究・交流集会を開催しました。「いのちと安全をまもる地域建設産業の発展に向けて」をテーマに、駒澤大学吉田敬一名誉教授による



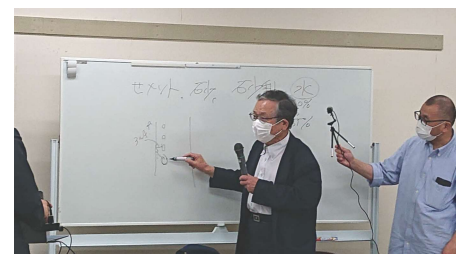
建交労からは地元福島を含め8名が参加しました

組合掲示板

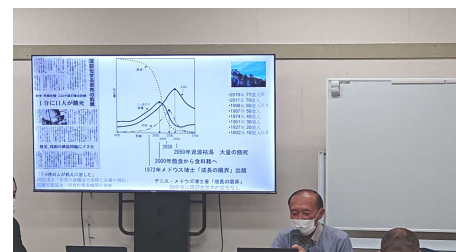
- 1月 6日（金）8時〜23春闘新春宣伝行動／新宿駅東口
- 1月12日（木）11時〜23春闘闘争宣言（丸の内仲通りデモ経団連前行動）
- 1月12日（木）14時〜バス関連支部（京王新労組）都労委都庁第一庁舎38階
- 1月16日（月）13時〜西東京バス証人尋問／東京地裁立川404
- 1月24日（火）18時半〜23国民春闘総決起集会／なかのゼロホール

「中小企業とコロナ危機後の日本経済」と題した記念講演、全建設連住宅対策部長高橋健二さんが「コロナ禍における資材価格の高騰と工務店への影響、運動課題」と題した特別報告、原

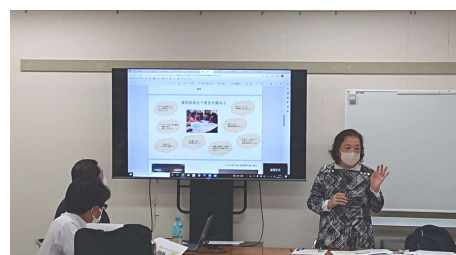
都本部主催業種別学習交流会
東京建設 関連部会 建築士の仕事
東京都本部に結集する様々な業種の生業や労働実態を、組合員同士が互いに知り、団結を深める目的で提起された業種別学習交流会の第2回目が、11月12日（土）、東京労働会館地下会議室で開催されました。2021年12月に開催した上村事務局長による東京トラック部会の学習会以来となります。第2回は東京建設・関連部会に結集する建築士の仲間の社会的役割や労働実態について、建築設計支部いしづえ分会の伏谷政幸建築士



いしづえ分会 伏谷政幸一級建築士



いしづえ分会 金田正夫一級建築士



とも企画設計 高田桂子代表

とも企画設計の高田桂子代表、法政大工学博士金田正夫建築士が講師を務め行われました。伏谷氏は、設計・施工・メンテナンスに至るまで建設・関連部会の仲間の仕事の流れを紹介し、高田代表は、施主ひとりひとりが異なる要望を持つ中、対話を重ねながら設計する建築士の役割を強調されました。金田氏は、環境破壊を引き起こさない真の持続可能な建設業界の在り方について講演されました。質問時間では、参加者から率直な質問が出され、有意義な時間となりました。次回、第3回の業種別学習会交流会もお楽しみに！